

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- トランスサイレチン(プレアルブミン)/免疫比濁法 (依頼コード No.14143)
- レチノール結合蛋白(RBP)/ラテックス凝集比濁法 (依頼コード No.14150)
- トランスフェリン(Tf)/免疫比濁法 (依頼コード No.14116)

受託開始日 2025年2月1日(土) ご依頼分より

トランスサイレチン(プレアルブミン)は主にサイロキシン(T₄)と結合し、T₄輸送蛋白の機能を有します。レチノール結合蛋白(RBP)は血中のレチノール(ビタミンA)と特異的に結合する蛋白で、レチノールの輸送に関与します。これらの蛋白は血中半減期が短いため、栄養状態を把握する検査として用いられます。トランスフェリンは生体内で鉄を輸送する鉄結合性糖蛋白で、その血中濃度測定は貯蔵鉄の把握や貧血の原因疾患鑑別などに用いられます。

この度、検査精度向上を目的として、トランスサイレチンとトランスフェリンは免疫比濁法の試薬を、レチノール結合蛋白はラテックス凝集比濁法の試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

- 既に弊社Information No.2025-1にてご案内しましたとおり、現行のトランスサイレチン(プレアルブミン)(依頼コードNo.00877)、レチノール結合蛋白(依頼コードNo.00875)、トランスフェリン(依頼コードNo.00860)は、2025年3月31日(月)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



●トランスサイレチン(プレアルブミン)

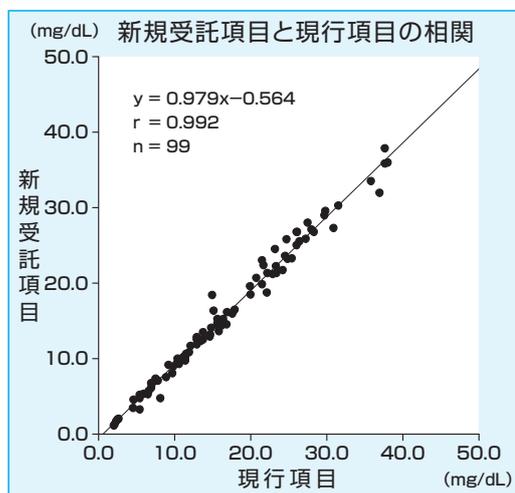
受託要領

	新規受託項目	ご参考：現行項目
依頼コードNo.	14143	00877
検査項目名	プレアルブミン	同左
統一コード	5C010-0000-023-061	5C010-0000-023-063
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	免疫比濁法	ネフェロメトリー法
基準値	22.0~40.0	同左
単位	mg/dL	同左
報告範囲	0.2未満~最終値	0.5未満~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	101点/144点(免疫学的検査)	同左

【検査方法の参考文献】

古田島伸雄, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 32, 84-88, 2007.

ご参考：相関図



自社検討資料

●レチノール結合蛋白(RBP)

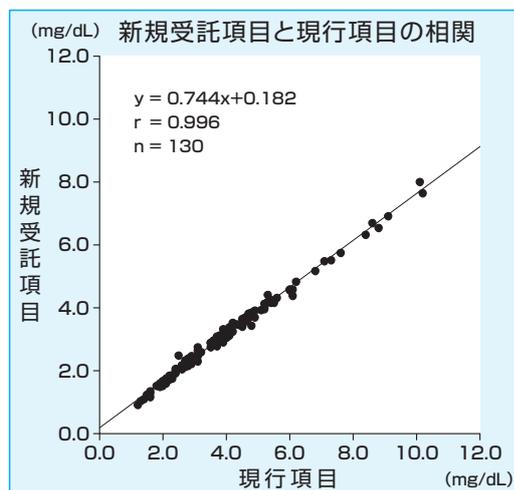
受託要領

	新規受託項目	ご参考：現行項目
依頼コードNo.	14150	00875
検査項目名	レチノール結合蛋白	同左
統一コード	5C030-0000-023-062	5C030-0000-023-063
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	ネフェロメトリー法
基準値	男性：2.7~6.0 女性：1.9~4.6	2.5~7.1
単位	mg/dL	同左
報告範囲	0.1未満~最終値	0.2未満~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	132点/144点(免疫学的検査)	同左

【検査方法の参考文献】

古田島伸雄, 他: 日本臨床検査自動化学会会誌 32, 84-88, 2007.

ご参考：相関図



自社検討資料

●トランスフェリン(Tf)

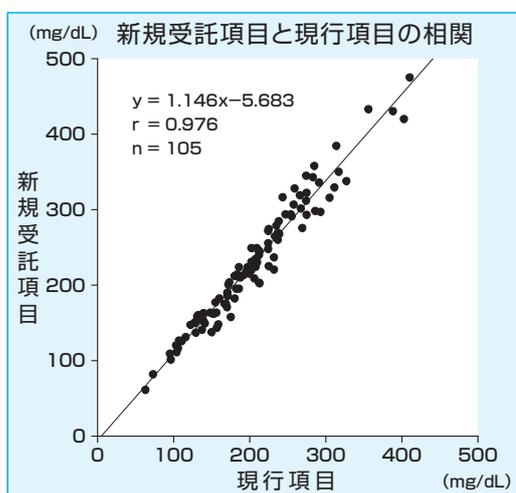
受託要領

	新規受託項目	ご参考：現行項目
依頼コードNo.	14116	00860
検査項目名	トランスフェリン	同左
統一コード	5C060-0000-023-061	5C060-0000-023-063
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	免疫比濁法	ネフェロメトリー法
基準値	190~320	同左
単位	mg/dL	同左
報告範囲	4未満~最終値	1未満~最終値
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	60点/144点(免疫学的検査)	同左

【検査方法の参考文献】

古田島伸雄, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 32, 84-88, 2007.

ご参考：相関図



自社検討資料